

特定非営利活動法人



〒360-0002
熊谷市大塚 253-1
TEL/FAX
048-525-9290
代表理事 高岸加津子

就労継続支援B型 第6号 ゆりかご だより 平成23年10月発行



メンバーNさんの作品

— 苦しい工賃 —

工賃のほとんどが、全員で出来る作業収入によるものです。

作業とは、バリ取り→キャップ締め→検査→40個を小袋に入れる→小袋100袋を大袋に入れ→完成 といった流れの作業です。

この大袋が1400円で、どんなに頑張っても1ヵ月1万円弱くらいにしかありません。

その他の収入方法も考え、焼き芋販売と移動販売車でのフライ販売を始めました。就労継続B型という形態をとると仕事が主になり、平均工賃1人3千円以上という政策があるので毎日一生懸命作業をしています。販売の売り上げも最近少なく、目標の工賃を達成するのは大変です。

ゆりかごは就労継続B型ですが、知的障害の人より重度の身体障害の人が多いため、手先を使う仕事をこなせる人が少なく、なかなか仕事が無いのが現実です。

移行前は地域ディケア施設だったので、リハビリの為の散歩や運動を多く取り入れていましたが、就労継続に移行してからは散歩も運動も減らしています。そのためメンバーの体は太り気味になり、足の動きも悪くなったように感じます。

就労継続ではなく生活介護型にしたらとも思いますが、軽い知的障害の人が入れなくなってしまうのです。

重度身体障害、軽い知的障害、精神障害の人達がいるゆりかごは国の決まりに沿う事が大変難しいのです。

色々な障害を持っている人たちが毎日を共にできる施設環境を作ってほしいと思います。

—納涼祭—

今年は暑さを避けようと、少し遅めの8月の終わりに納涼祭をしました。その日は残念なことにお天気がいまいち。

予備日(翌日)のほうがもっと悪そうなので当日決行！

空模様とにらめっこをし、心配しながら朝から準備。

案の定午前中は雨が降ったりやんだりで、開催予定の3時にもまだ小雨が・・・

お天気を横目に見ながら定刻に始めました。

まず、メンバーのお母様による余興と若者のライブ。



外で食べる予定の食事は仕方なく室内で。

しかし、幸運な事に夕方5時半には雨もやみ、恒例の美和の会の皆さまの踊りと全員参加の盆踊りは外でする事が出来ました。

外のちょっと寂しげな提灯の灯りがやっぱり夏の納涼祭を盛りたてます。予定通り花火もでき、納涼祭も無事終了しました。



今年は大震災があり、計画停電があり、まだまだいつ起こるか分からないと言われている首都圏の大地震と不安要素がたくさんある中ですが、この日は1日楽しく過ごす事が出来ました。

お天気はいまいちでしたが、メンバーのご家族やいつもお世話になっている方々、地域の方たちに沢山来ていただけてとても嬉しかったです。

— 防災訓練 —

今年の3月11日に起きた大震災は日本にとっても大きな爪痕を残しました。

あの時、ゆりかごでは帰りの送迎時間で、バスに乗り込むところでした。立ってられないくらい揺れる地面、倒れるかと思うくらい揺れる電信柱、まるでおもちゃのように揺れる車、今まで体験した事のない衝撃的な出来事でした。

今回の地震を体験して、ゆりかごでもこれから防災訓練に今まで以上力を入れていこうという事になり、吹上の防災学習センターに行ってきました。

防災学習センターは、様々な災害時のシュミレーションをしながら、災害時の避難の仕方などの知識を身に付けることのできる施設です。

地震体験コーナーでは、大きな地震の揺れを体験し、重い電動車いすも大きく揺れ、乗っているメンバーの体はベルトで留めてあるにもかかわらず落ちてしまいそう思わず支えました。

火災時の煙体験では、火災が起きて煙が発生した時の避難の仕方を教わりました。



車椅子の人は態勢を低くして逃げる方法をとれないので、壁伝いに避難する体験をしました。



暴風雨体験コーナーでは毎秒 30mの暴風の中、目も開けられないほどの風の強さに、飛ばされないよう必死につかまり立っていました。

みんなの顔が変形していました(笑)

消火体験コーナーでは訓練用の消火器を使って、火災の映し出されたモニターに向かって、「火事だぁー 火事だぁー」と大きな声で叫びな

がら消火活動をしました。

映像コーナーでは防災に関するビデオを見せてもらいました。

体験が終わってみんなに感想を聞くと、「楽しかった」とか「怖かった」等の感想に加え、「また行きたい」次は「いつ行く？」等とお気楽な答えも返ってきました。

あくまでも体験は体験でしかなく、緊迫した気分は全くないのですが、関東地方に直下型の巨大地震が30年の間に来ると言われています。

非常事態に、この体験が、そしてこれからちょこちょこやっていく避難訓練が少しでも役に立つよう回を重ねていきたいと思っています。



ゆりかごでの
防災訓練



暴風体験。眼が開けられない～



地震体験。
震度 6 なのに体験なので笑っています

—赤い羽根募金活動—

10月3日今年もまた熊谷イオン(旧サティ)へ
募金活動に行って来ました。



10時オープンと同時に1階～3階に分かれ開始しました。

12時までの2時間と短い時間ですが、毎年欠かさず参加しています。
今年は色々な学校が運動会の代休だったらしく、平日にもかかわら
ず例年より人通りも多かったように思いました。

メンバーK 君は今年初参加で、最初は声を出す事が恥ずかしそうで
したが、徐々に慣れ、「募金にご協力お願いします」と大きな声を出
せるようになっていました。

ゆりかごに帰り集計してみると、ゆりかごが募金活動に参加するよ
うになってからの最高額との事。(スゴイ！！)



お財布から小銭を全部出して下さった
方もいました。かなりの額でした。

あの大震災があったので募金する人の意識が変化しているのかも
しりません。

募金してくださった方ありがとうございました。熊谷市社会福祉協
議会に送らせていただきました。



— 現場実習生大歓迎！ —

今年も9月に熊谷・行田両特別支援学校から1名ずつ実習生を迎えました。

短い期間で“ゆりかご”を知ってもらうことには限りがありとても残念ですが、雰囲気は感じていただけたようです。

今回の実習生は2人とも表情がとても明るくにこやかで、自分から分からない事や質問を職員に投げかけ、こちらから聞いた事に対してもきちんと変事を返してくれる、とても可愛い生徒さん達でした。

この若い生徒さんたちの初々しさはメンバーや職員にとっても良い刺激になりました。

実習生の受け入れは生徒さんの卒業後の進路選択に係わることですので責任重大です。

実習生のニーズを知り、今後のゆりかごのあり方を学ぶ良い機会でもあったと思います。

実習生大歓迎です。

実習生の皆さんにとって、ゆりかごでの経験が自分に合った進路を見つけ、自分で選択できるきっかけになれる事を願っています。

もちろん、卒業後ゆりかごを選択してくれれば嬉しいです。

現在のゆりかごメンバーの平均年齢は少々高いので、特に若いメンバー大歓迎。

平均年齢が若くなる事は嬉しい事です。

活気が出ます。



ご希望があれば移動販売に伺います
近隣であればどちらでも…
詳しいことは要相談！

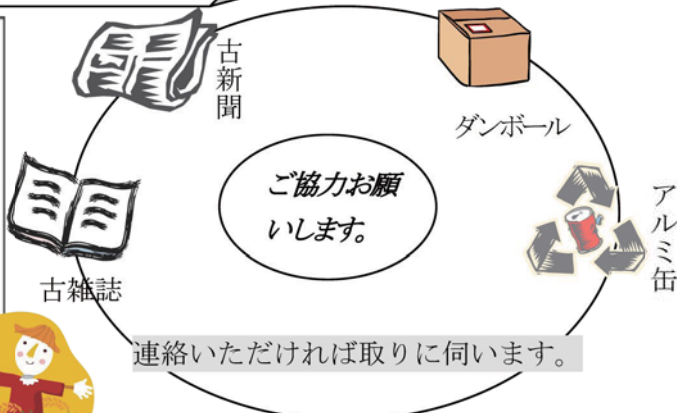
フライドッグ・フライ販売
月・水・金 11時～2時
休み
土・日・祭日・年末年始
ゴールデンウィーク
臨時休業有

電話での予約注文あり！



賛助会員募集中

年会費・1口1000円～
会報を送らせて頂きます。



編集後記

朝 駅のロータリーで最近見かけなくなった放置自転車が数台置き去りになっていた。

全ての自転車に「放置自転車禁止」の大きな札が置いてあり茶色い札まで結びつけてあった。

明らかに置いて行ったらいけないという事は見てすぐわかる状態。

そこへ女子高生がためらいもなく自転車を隣に置いてさっさと駅の階段へ消えていった。

あの子はどういう神経をしているのだろう？

ここに置いたら迷惑だと思わないのかな？

帰りに自転車が無かったらと不安に思わないのかな？

なんて思いながらその女子高生を見ていた。

